



	愛知県 健康づくり 振興事業団	岡崎市医師会 公衆衛生 センター・はるさき 健診センター	半田市医師会 健康管理 センター	名古屋公衆 医学研究所	あいち健康 クリニック	刈谷医師会 臨床検査セン ター	名古屋 セントラル クリニック	JAあいち 健診センター	中京サテライト クリニック	聖隷予防 健診センター	瀬都市医師会 健診センター	愛知健康増進 財団	東栄診療所	名古屋 スカーション クリニック	瀬戸健康管理 センター	碧南市医師会 臨床検査 センター	ライフ予防医 学センター	平林移動集団 検診所	公衆保健協会	すこやか 健診センター	西尾市医師会 健康管理 センター	渥美病院	ナゴヤガーデン クリニック	オリエンタル労 働衛生協会	合計(○)		
4 喀痰細胞診の精度管理 ① 検査を外注している場合は、外注先施設の状況を確認すること。 ② 自治体や医師会が外注先施設を指定している場合は、自治体や医師会が代表して外注先施設の状況を確認し、各検査機関に通知する形が望ましい。 ③ 自治体や医師会が把握していない場合は、検査機関が直接外注先施設に確認すること。																											
27 細胞診の業務を委託する場合は、その委託機関(施設名)を仕様書等※に明記しているか ※ 仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	18		
28 採取した喀痰は、2枚以上のスライドに塗抹し、湿固定の上、パパンニコウ染色を行っているか	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	20		
29 固定標本の顕微鏡検査は、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行っているか注4	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	20		
30 同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングしているか	-	○	○	○	○	○	○	×	-	○	-	○	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	18		
31 がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行っているか※ ※ がん発見例については必ず見直すこと。また、がん発見例が無い場合でも、少なくとも見直す体制を有すること	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	20		
32 標本は少なくとも5年間は保存しているか	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	20		
33 喀痰細胞診検査結果は少なくとも5年間は保存しているか	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	20		
5 システムとしての精度管理 ① 検査機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること。 ② 自治体や医師会主導で実施している項目(自治体や医師会しか状況を把握できない項目)については、あらかじめ自治体や医師会が全検査機関(医療機関)に実施状況を通知することが望ましい。																											
34 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24	
35 がん検診の結果及びそれに関する情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しているか ※ 「がん検診の結果及びそれに関する情報」とは、地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24	
36 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果※(診断、治療方法、手術所見、病理組織検査など)について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めているか ※ 精密検査(治療)結果は地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	21	
37 検診に従事する医師の胸部画像読影力向上のために「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会注3」を年に1回以上開催しているか。もしくは、他施設や都道府県単位、あるいは日本肺癌学会等が主催する胸部画像の読影に関するセミナー・講習会注3を年に1回以上受講させているか	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	17	
38 内部精度管理として、検診実施体制や検診結果の把握、集計・分析のための委員会(自施設以外の専門家※を交えた会)を年に1回以上開催しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した同様の委員会に年1回以上参加しているか ※当該検査機関に雇用されていないがん検診の専門家や肺がん診療の専門家など	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	17	
39 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握※しているか ※ 冒頭の解説のとおり、検査機関が単独で算出できない指標値については、自治体等と連携して把握すること。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可である	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	19	
40 プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っているか。また、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23
	1	0	0	2	0	0	0	3	6	0	8	0	5	2	0	0	3	5	0	2	0	0	2	6			
満たしていない項目数																											
評 価	B	A	A	B	A	A	A	B	B	A	B	A	B	B	A	A	B	B	A	B	A	A	B	B			

注3 下記講習会の具体的内容は、日本肺癌学会ホームページ(肺がん検診について)を参照すること [https://www.haigan.gr.jp/modules/lcscr/index.php?content\\_id=1](https://www.haigan.gr.jp/modules/lcscr/index.php?content_id=1) 「肺癌取扱い規約 第8版 肺がん検診の手引き改訂について」、「肺癌取扱い規約第8版「肺がん検診の手引き」改訂に関するQ&A」  
・「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会」  
・「他施設や都道府県単位、あるいは日本肺癌学会等が主催する胸部画像の読影に関するセミナー・講習会」

注4 喀痰の処理法・染色法:  
公益社団法人 日本臨床細胞診学会、細胞検査士会編集「細胞診標本作製マニュアル」参照 [http://www.intercyto.com/lecture/manual/resp\\_manual.pdf](http://www.intercyto.com/lecture/manual/resp_manual.pdf)  
細胞診判定: 肺癌取扱い規約、日本肺癌学会ホームページ(肺がん検診について)参照 「肺癌検診における喀痰細胞診の判定区分標準的細胞」 [http://www.haigan.gr.jp/modules/lcscr/index.php?content\\_id=1](http://www.haigan.gr.jp/modules/lcscr/index.php?content_id=1)

評価(×の数により評価)  
A:0 B:1-8 C:9-16 D:17-24  
E:25-32 F:33- Z:回答なし